

バッハの学校岡山 特別講座

クラヴィコード・ピアノ・バロックダンス講座の案内

鍵盤楽器の原点、クラヴィコードを響かせることの意義は、バッハの息子カール・フィリップ・エマヌエル・バッハによって記述された — クラヴィコードを上手に演奏できる者はチェンバロも上手いが、その逆はあり得ない —

古典派作曲家の伝統に添い、クラヴィコードでロングトーンを追求した結果をピアノのロングトーンにつなげること — 音楽は美しい1音からはじまる — 今回の講習会では、「音」の追求に2日間を捧げます。

加えて、バロック音楽の舞曲の解釈に欠かせない、身体のリズムから来るフレーズ感をダンスの実習から学び、総合的なバロック・古典音楽の勉強の1歩を踏みます。(記. 白井雅美)



講座内容

第1日：2018年(平成30年)2月1日(木)

9:30 ~ 12:00 クラヴィコード奏法ロングトーン
13:00 ~ 15:00 チェルニーの『ピアノ奏法』によるロングトーン
15:00 ~ 17:00 バロックダンス演習・舞曲の解説付き

第2日：2018年(平成30年)2月2日(金)

9:30 ~ 11:00 クラヴィコード奏法ロングトーン
11:00 ~ 12:00 解説つきデモンストレーション
13:00 ~ 16:00 質疑応答含めてバロックダンス演習

講師

白井雅美

会場

日本福音ルーテル岡山教会
(〒700-0806 岡山市北区広瀬町3-13)

参加費

参加を希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡ください

お申し込み締め切り

2018年(平成30年)1月11日(木)

お問い合わせ・お申し込み先

scholabachen.okayama@gmail.com